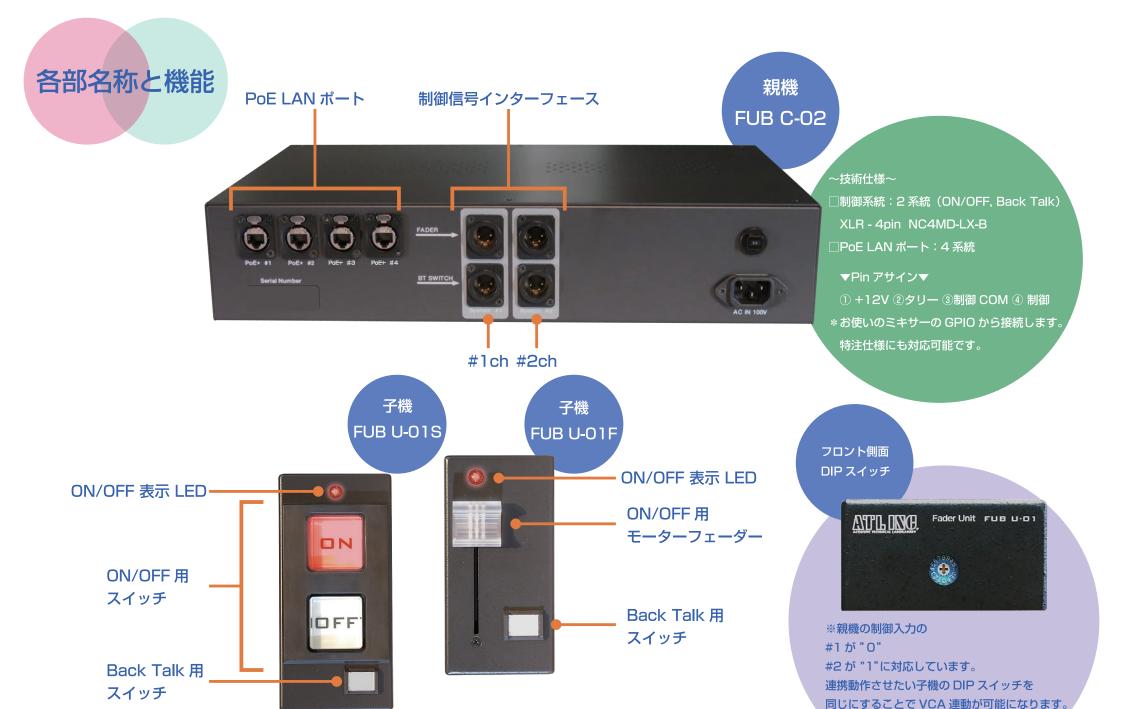
VCA 連動 PoE 駆動 FU ユニット FUB C-O2 / FUB U-O1F / FUB U-O1S



- ◆ NHK 様と共同開発 (特許出願中)
- ◆ 従来それぞれの FU は連動 しなかったが ethernet 規格での通信により連動可能
- ◆ PoE により、LAN ケーブル1 本で駆動
- ◆ VPN を使用したリモート プロダクションにも対応
- ◆ 24 時間 365 日の通電環境を 前提に設計





ID: #2

FU1

ID:#1

※1 アナウンサー / キャスターの座り位置・立ち位置それぞれに FU ユニットを配置する例です。

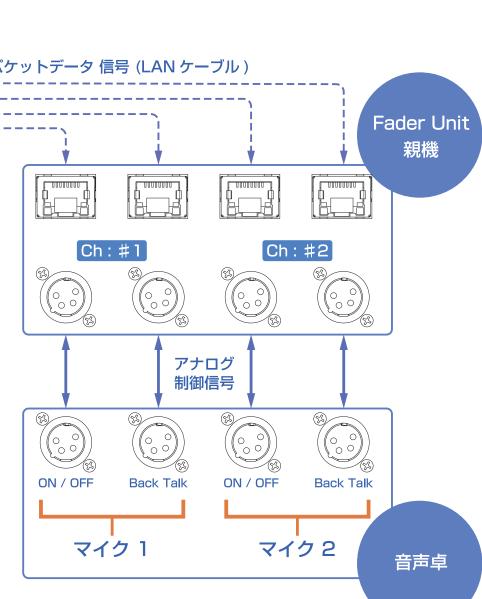
キャスター

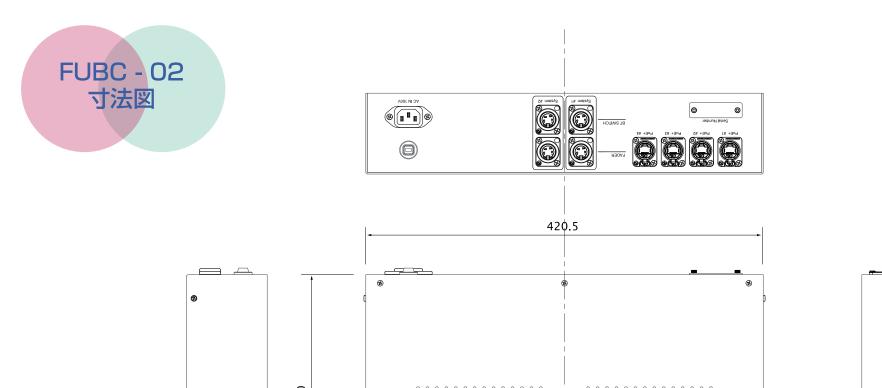
座り席用

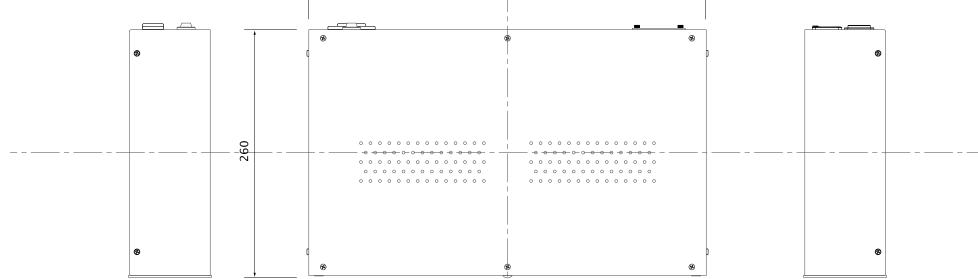
※2 FU ユニットの構成は、自身のワイヤレス専用マイクの ON/OFF を切り替えるフェーダー(またはスイッチ)と、調整室側と放送に乗らない音声のやり取りを行う "BT スイッチ(バックトークスイッチ)"で構成されています。

: Fader Unit 子機

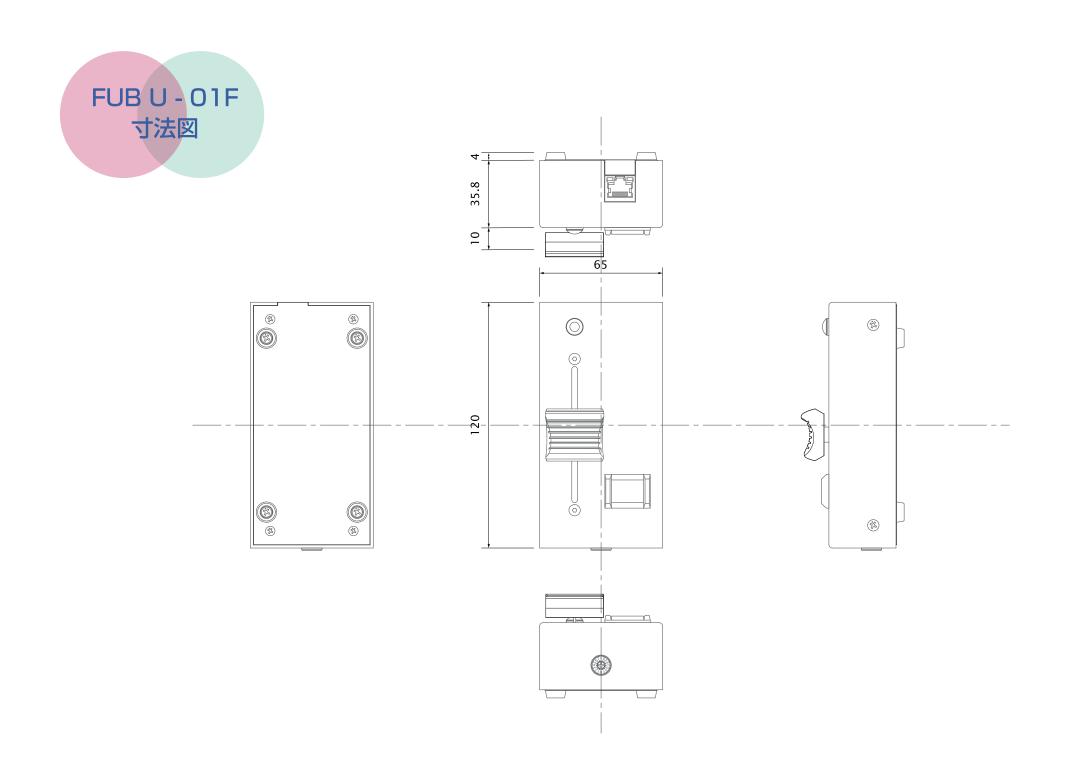
※3 それぞれの子機を連携動作させるためには、親機の制御信号 INPUT に対応する ID を子機側面の DIP スイッチで設定します。(# $1 \rightarrow ID:0 #2 \rightarrow ID:1$)



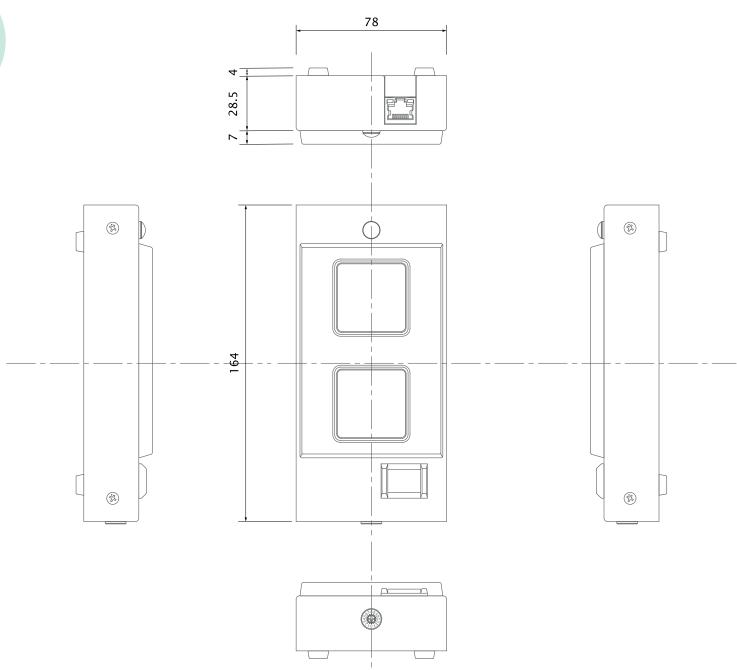


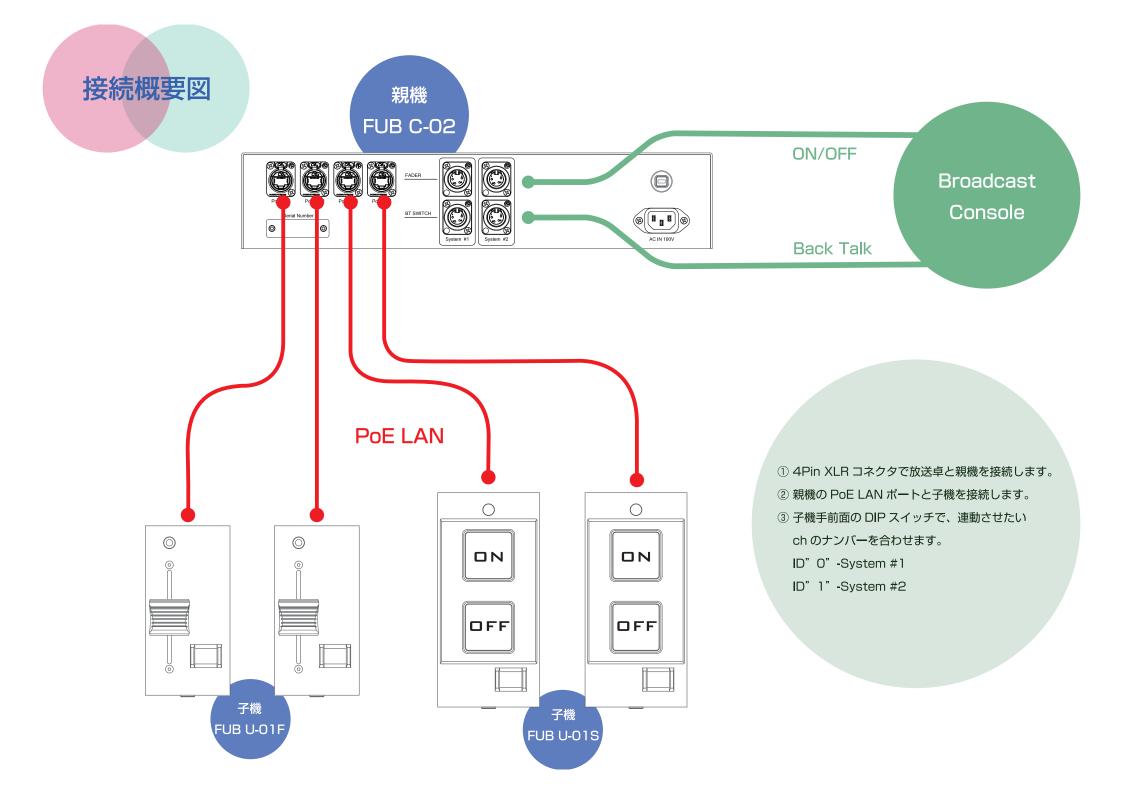


*ラックマウント用フロントパネル別売





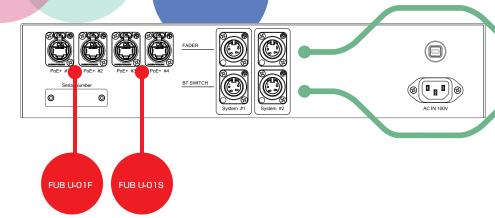


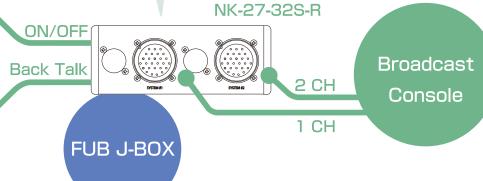


オプション品 変換 BOX FUB J-BOX

FUB C-02

※ FU 接続を NK27 コネクタで行っている局向けに専用変換 BOX のご用意がありますので、スムーズな移行が可能です。









放送卓からスタジオ内の壁コンセントに出ている NK27 コネクタ同士を接続するだけで、FUB シリーズ との接続を可能にする電源不要のジャンクション ボックスです。

本器と FUB 親機を接続することで、各子機へは LAN ケーブル 1 本のみで配線が完了します。

~技術仕様~

- □ 制御系統入力: 2 系統 NK-27-32S-R コネクタ (ON/OFF, Back Talk 含む)
- □ 電源は旧規格でのピン内電圧 22V を利用



VCA FU FUB シリーズ

